

「保育者の自己評価のためのチェックリスト」【結果報告】

自己評価実施日：令和7年9月26日

この自己評価は、個々の保育教諭等が子どもの理解を基盤に保育を振り返り、自分の保育の良さや課題を捉えて、次の保育に活かしていくために行うことが目的です。

それぞれの設問の前に「あなたは」をつけてお答えください。

「良く出来ていると思ったこと」「これからの課題と思ったこと」は、自分自身のこととして、思っていることを記入してください。

【評価方法】当てはまる欄に○印をつけてください。

- A：十分できている（十分理解できている） B：ほぼできている（理解している）
C：あまりできていない（やや努力が必要） D：ほとんどできていない（努力が必要）

第1章 総則

1. 教育及び保育の基本と目標

	設 問	A	B	C	D
1	幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、その内容を理解していますか。		2	8	
2	「教育要領」「保育指針」「教育・保育要領」を読んだことがありますか。		10		
3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。	6	4		
合 計		6	16	8	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・乳幼児期は人格形成の基礎を培うための大切な時期であることを理解し、意識して保育や教育に取り組んでいる。 ・乳幼児期の教育・保育の重要性を感じながら保育をするように心掛けている。	・日頃から法令や要領を読み返し、理解を深める部分が不十分だと感じる。自己評価がある度に見直しできていないことに気付く。 ・指針や要領を理解している気になっているところがあるので、目を通す機会を作っていきたい。 ・法令や要領に関しては、読んではいってもしっかりと理解はしていないので、意識して読む機会を増やしていきたい。 ・理解しているつもりでも、いざとなると説明する自信はない。定期的に見直し理解に努めていきたい。

2. 特に配慮すべき事項

（1）教育及び保育の配慮

	設 問	A	B	C	D
4	登園時の子どもの健康観察を行っていますか。	7	3		

5	子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか。	2	8		
6	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか。	8	2		
合 計		17	13	0	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・登園時、泣く子に対しては寄り添い、安心して気持ちよく園生活がスタートできるよう心掛けている。 ・登園時の健康観察、職員間での連携を図るように心掛けている。 ・一人ひとりの気持ちに寄り添った言葉掛を心掛けている。 ・言葉を習得していく大事な時期だということを考えながら言葉掛をしていくように心掛けている。 ・職員同士で子どもの様子、体調で気になったことはすぐに伝え合い、引き継げるようにしている。	・“おだやかに”という部分で、どうしても注意の際の声掛けがきつくなってしまう。子どもの立場に立って考えながら、言葉を選んで伝えていく。 ・どんな時でもすぐに対応できるように心掛けているが、待たせてしまったりする場合がある。

(2) 健康支援

	設 問	A	B	C	D
7	子どもの中に感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などをすぐに全保護者に連絡していますか。	3	7		
8	疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか。	6	4		
9	子どもの体調が悪くなったときに、保護者をはじめ園医やかかりつけ医と連絡を取るように心掛けていますか。	3	6	1	
10	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか。	6	4		
11	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身に付けるよう、保護者との連携に努めていますか。	5	4	1	
12	不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。	4	6		
合 計		24	31	2	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・発熱した子がいたら、現在園で流行っている病気を知らせるようにしている。 ・感染症や体調の変化は職員間で共有し、感染症の発生はすぐに家庭に知らせるようにしている。 ・体調面に関して、保護者との連携をきちんととるように心掛けている。 ・プールの後は体が冷えやすいので、保育室の温度（エアコンを切ったり、温度を上げたり）に配慮している。 ・不審者対応訓練に参加することで、対策がよく分かり、覚えられていると思う。行事としてあることが大事だと改めて感じる。	・クラスで感染症が発生した時は、貼り紙や口頭で知らせるが、予防対策までは知らせていないので、意識して知らせたい。 ・クラスの感染症の人数は把握しているが、他クラスの状況を把握しておらず、保護者に聞かれて答えられないことがあったので、しっかりと把握していきたい。 ・生活リズムに関してはそれぞれの家庭の事情もあると思うので、その点も踏まえながら出来そうなことを少しずつ提案していきたい。

(3) 食育

	設 問	A	B	C	D
13	子どもの体調に応じ、食事の量を調節したり、食べ物を残したり偏食したりするときは、過度に叱らないように心掛けていますか。	8	2		
14	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか。	9	1		
15	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか。	3	6	1	
16	食物アレルギーのある子どもに対して、園医やかかりつけ医と連携して、除去食を取れ入れるなどの配慮をしていますか。	9	1		
合 計		29	10	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・一人ひとりの食事に合わせて様子を見守り、無理強いしないように心掛けている。 ・食事状況については、細目に保護者に伝えたり、無理に食べさせないように心掛けている。 ・無理はさせず、食べられる量を子どもに尋ねながら量を調整している。 ・食事の際の楽しい雰囲気は大事にしている。また、調理室の様子を見に行ったり、調理担当者との交流が以前より増えた。	・「食」に対する興味・関心を深める様々なアプローチがあると感じるので、勉強していきたい。 ・偏食が激しい子どもへの対応を模索中。一人で悩まず、栄養士や他の職員からアドバイスをもらいながら向き合っていきたい。 ・食事に時間がかかる子への言葉掛けが難しい。 ・食べたくない、苦手な物でも口にする機会をどのように作っていくかは、個々に合わせて考えていかなければいけないと感じた。

(4) 特別支援教育・障がい児（配慮を必要とする子）保育

	設 問	A	B	C	D
17	障がいのある（配慮を必要とする）子どもの保育について、園で定期的に話し合う機会を持ったり、子どもに合わせた個別指導計画を立てていますか。	5	5		
18	障がいのない子どもも障がいのある（配慮を必要とする）子どもも、お互いの良さを感じ取るように保育の配慮をしていますか。		10		
19	特別支援教育、障がい児保育などに関する研修に、他のテーマの研修と同じように自ら進んで参加していますか。	1	1	7	1
20	療育・医療機関などの専門機関から、子どもの障がいについて、必要に応じて助言を受けていますか。		9	1	
21	障がいのある（配慮を必要とする）子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、信頼されるよう努めていますか。	1	6	3	
合 計		7	31	11	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・職員間で日常話をしたり、巡回相談を利用し連携を取っている。 ・配慮が必要な子どものペースで安心して過ごせるように心掛けている。	・配慮の必要な子が増え、クラスを運営していく中で、援助の仕方に迷うことが多い。 ・気になる子の保護者への伝え方に難しさを感じる。 ・療育機関と情報交換（相談会）はあるが、積極的にモニタリ

・保護者の思いに寄り添ってサポートができるように努めている。(まだまだ十分ではないが) ・配慮を必要とする子に対して職員間で話し合ったり、情報を共有している。	ングさせてもらい、子どもの様子を知ること、今後の支援に役立てたい。自分自身が配慮の必要な子を取りまく環境を知ろうとする姿勢が足りない。 ・担当する子どもが通う療育施設を見学し、活動内容や支援・対応の仕方、環境構成など、具体的に学ぶ機会を作り、自分の保育に生かしていきたい。 ・障害のある子どもの保育について、クラス運営の知識や方法等も含め、もっと積極的に研修に参加して勉強しないとイケないと感じる。
--	---

第2章 子どもの発達

	設 問	A	B	C	D
22	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	5	5		
23	子どもの人権や一人ひとりの個人差を尊重して、保育をしていますか。	2	8		
24	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	1	6	3	
25	園の生活になじみにくい子どもに対して、一人ひとりに応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか。	1	9		
合 計		9	28	3	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・一人ひとりに合わせた対応・援助を心掛けている。 ・子どもが“やりたい”“あそびたい”という玩具は制限することなく出している。 ・子ども自身が、やってみたい、楽しそうと思えるような保育を心掛けている。 ・製作あそびなどは一斉でなく、子ども達の興味・関心を引き、「やりたい」という気持ちをスタートにして取り組むようにしている。 ・一人ひとりの発達の違いや差があることに関しては、自分なりに調べたり客観的に見るように努力している。	・子どもが主体的に関わる環境について、もっと考え、実践に繋げていきたい。 ・“主体的”というところで、制限してしまっている部分もあり、難しさを感じる。保育者の気持ちのゆとりは大事だと思う。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1. 保育内容「健康」

	設 問	A	B	C	D
26	一人ひとりの子どもが明るく伸び伸びと遊べるよう、いつも見守っていますか。	6	4		
27	健康的な生活のリズムを身に付けるよう、一日の保育の時間配分や家庭との連携を取っていますか。	2	8		
28	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身に付くよう保育をしていますか。	4	6		
29	生活に必要な習慣が身に付くよう、家庭との連携に努めていますか。	2	8		

30	災害時に子どもが取る行動について、日頃から丁寧に話し、火事・地震以外の災害を想定した避難訓練も行っていますか。	8	2		
合 計		22	28	0	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・手洗いの仕方だけでなく、手を洗うことの大切さもその都度知らせるようにしている。 ・生活習慣の中で、できるようになったことや園で頑張っていることは、保護者に共有するようにしている。 ・避難訓練前後に職員間で話し合えていると思う。紙芝居などでも災害について伝えるようにしているが、子ども達も集中して、よく見ているように思う。	・年齢に合わせた援助はできているが、先を見据えての手洗いの仕方やうがいの仕方を、知らせることが出来ていない。自立を促すための配慮を行っていきたい。 ・様々な災害が多くなっているのので、対応について改めて考えておきたい。 ・避難訓練は毎月行っているが、保護者への引き渡し訓練も今後検討していけたらと思う。

2. 保育内容「人間関係」

	設 問	A	B	C	D
31	自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後達成感を味わえるように配慮していますか。	4	6		
32	友達と積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか。	4	6		
33	良いことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動できるよう援助していますか。	4	6		
34	高齢者をはじめ、地域の方々などに親しみを持つような機会を保育に取り入れていますか。		3	5	2
合 計		12	21	5	2

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・コロナ前ほどではないが、少しずつ高齢者施設訪問や地域の方々との交流などの機会が増えてきていると思う。 ・子ども達が気付けるような関わりを心掛けている。 ・自分でしたいという気持ちを大切に关わるよう心掛けている。 ・一人ひとりに応じて見守ったり、励ましたりしながら、自分でやってみようとする意欲が持てるように関わっている。 ・小さな出来事を褒め、次へと繋げられるように心掛けている。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、見守りながら保育している。 ・一人ひとりのペースに合わせて、声掛けや援助、見守りをしている。 ・子ども達の様子をよく観察し、一カ月前、一週間前、昨日と、一人ひとりの変化を理解して、子どもたち同士のやりとりや関係が、成長できるよう配慮している。	・未満児クラスは、高齢者や地域の方々との交流の機会を作ることが難しい。 ・高齢者施設は近くにあるが、感染症などの心配もあるため、できる範囲で取り組みれば良いと思う。 ・散歩などで商業施設などにも遊びに行き、地域の人と触れ合う機会や色々な仕事を知る機会を作りたい。 ・時としてこちらの都合でせかしてしまったり、待ってあげられない事もあるので、気を付けていきたい。 ・保育者が手を貸してしまうことが多く、自分でする意欲を引き出す配慮が足りていないと思った。子ども達自身の力を伸ばしていけるようにしていきたい。 ・友達との関わりの中に介入してしまうことがあるので、なるべく見守ることを心掛け、最後まで自分で解決する力や、子どもたちなりの気持ちの整理の付け方を身に付けていけるようにしたい。

3. 保育内容「環境」

	設 問	A	B	C	D
35	子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さに気付くように援助していますか。	3	5	2	
36	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか。		8	2	
37	身近な動植物を飼育・栽培する中で、それを可愛がったり、いたわったりする体験を大切にしていますか。	2	5	2	1
38	数量や図形などに関心を持つよう、生活の中で数を数えたり、形を意識するなど、工夫して保育していますか。	1	9		
合 計		6	27	6	1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・当番活動の中に、人数やおやつ皿を数える経験を取り入れ、数に関心を持てるようなきっかけづくりを心掛けている。 ・以前より、生き物や栽培物など、身近な自然に触れる機会が増えた。 ・散歩の機会は減ってはいるが、園内でできる活動の工夫が見られる。 ・身近な自然や生き物に触れたり、一緒に観察する機会を作っているようにしている。 ・子どもの気付きや発見を大事にしている。	・数量や図形などの関心を高められるような環境づくりを心掛けたい。また、一人ひとりの関心や知識が、どの程度なのか分かっていないのが現状なので、しっかりと把握したい。 ・色への関心を持てるような保育は取り入れているが、数や図形を取り入れた保育はあまりできていない。 ・もっと、自然に触れ合うことのできるような環境作りを工夫していきたい。 ・季節の虫（バッタ、かぶとむしなど）に触れる機会を作っているが、それらを飼育する体験まではできていない。保育者も知識が必要だと思う。

4. 保育内容「言葉」

	設 問	A	B	C	D
39	あなたは子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか。	3	7		
40	子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか。	3	6	1	
41	「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、それを理解して使うことができるように、配慮していますか。	2	8		
42	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気づくよう心掛けていますか。	5	5		
合 計		13	26	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・子ども達の好きな絵本や興味のありそうな絵本を図書館などで探し、読み聞かせを行っている。 ・絵本は細目に読み聞かせをしているので、子ども達もとても興味を持っている。 ・様々なジャンルの絵本・紙芝居等読み聞かせを行っている。 ・絵本や紙芝居に触れる機会は、毎日作るようにしている。	・子どもからの発信を大切にしたい。 ・子どもが尋ねやすい雰囲気作りを心掛けたい。 ・子ども達との言葉のやりとりの時間を大切にしていきたい。 ・生活の中で必要な言葉を理解して使えるようにという意識よりも、“この時はこう言うもの”という伝え方をしてしまっているのを気を付けたい。

・子どもの言葉を聞き、遊びの中でたくさん会話するように心掛けています。 ・言葉の習得しやすいように丁寧に伝えるようにしている。 ・言葉でうまく伝えられない年齢のクラス担任なので、言葉で伝える楽しさや大切さを自分自身がまず示せるようにしている。	
---	--

5. 保育内容「表現」

	設 問	A	B	C	D
43	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気付くように援助していますか。	4	6		
44	感動したことを伝え合う機会を作り、豊かに表現できるよう援助していますか。		6	4	
45	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみをもち、楽しめるように工夫していますか。	1	4	5	
46	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか。		4	6	
合 計		5	20	15	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・季節の歌を歌っている。 ・日頃音楽をかけ一緒に踊っているので、子ども達も音楽が好きなようである。リズムカルに体を動かしている。 ・音楽を流し、歌ったり、体操をしたりすることをみんなで楽しんでいる。 ・遊戯や楽器あそびは一緒に楽しみ、表現の楽しさを共有している。	・『表現』を保育に取り入れることに難しさを感じている。 ・楽器に触れる機会を作っていきたい。 ・毎回この部分の評価が低いのに改善されていない。しっかりと計画を立てて、先ず自分自身の意識改革が必要。 ・季節の歌や楽器あそび、リトミックなど、意識して保育の中に取り入れるようにしたい。 ・表現を楽しむ保育や遊びについて勉強不足を感じる。学んでいきたい。

第4章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1. 乳児期の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
47	あなたは保育者として服装や身支度などにも配慮し、自らの健康と清潔を常に心掛けていますか。	5	5		
48	室内の温度や湿度の確認や換気を行い、発育及び発達の状態をよく把握したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。	4	6		
49	一人ひとりおむつを交換する度に、手洗いを徹底していますか。		2	7	
50	一人ひとりの子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか。	3	6	1	
51	子どもの手が届く場所や床に、誤飲しそうなものがないように、十分注意を払っていますか。	7	3		

52	戸外遊びを行うなどの機会を設け、体を適度に動かす遊びや、リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れていますか。	5	5		
53	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から園医やかかりつけ医、専門医などと連携が取れていますか。	1	6	2	1
合 計		25	33	10	1

1

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・戸外あそびだけでなく、遊戯室で運動用具を使った遊びも取り入れている。 ・活動に応じて適宜エアコンの温度や風量を調節している。 ・年々暑さが厳しくなり、熱中症のリスクが高くなっている。細目な水分補給、体調観察、指数計を見て、戸外での活動を制限するなど、熱中症予防に努めている。 ・一人ひとりが快適に過ごせるよう心掛け、戸外で身体を動かす時間も作っている。	・排便処理後は手洗い、消毒ができていないが、おむつ交換毎の手洗いは忘れがちなので、気を付けていきたい。 ・一人ひとりのオムツ交換時、手洗いはできていないが、なるべく細目に手洗い、消毒をするようにしている。これからも一層気を付けて行っていきたい。 ・慌ただしくなると、おむつ交換毎に手指消毒ができていないので、気を付けていきたい。 ・静かな空間を確保することが難しい場面があったので、図書室などを利用していきたい。 ・おむつ交換時、多数の子達の交換をする際は消毒をするようにしているが、難しい時もある。少人数ずつ交換できるよう見直していきたい。

2. 満1歳以上～満3歳未満児の保育に関する配慮事項

	設 問	A	B	C	D
54	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人ひとりの発達過程に合わせ、無理なく行っていますか。	4	6		
55	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認していますか。	5	5		
56	自分でやり遂げる喜びや自信を持つことができるよう、配慮していますか。	5	5		
57	進級などで保育者が替わる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報を共有していますか。	7	3		
合 計		21	19	0	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・おもちゃの点検をしたり、小さいもので遊ぶ際は傍で見守るように心掛けている。 ・それぞれの子どもに合った援助や言葉掛けを心掛けている。 ・個人差が大きい時期なので、一人ひとりの発達やペースにあった援助や声掛けを心掛けている。 ・自分でしようとする気持ちを尊重して見守っている。 ・毎週クラス内の安全チェックをするようになり、安全に対する意識が高くなったと思う。 ・進級時の情報共有は丁寧に行えている。 ・できた時には一緒に喜んで、自信につながるよう配慮している。 ・安全点検を通して、安全な環境への意識が高まってきているように感じる。	・時間に追われて手を掛け過ぎてしまうことがあるので、待つことも大切にしていきたい。 ・保育者自身に余裕がない時に手伝いすぎたり急がせてしまう場面もあったので、気を付けていきたい。 ・生活習慣の習得において、つい全体の流れを優先してしまい、一人ひとりの発達の違いへの配慮が薄れることもあった。意識して個々に合わせた対応を心掛けたい。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

	設 問	A	B	C	D
58	指導計画は「教育課程」あるいは「保育課程」などに基づいて作成していますか。	4	6		
59	指導計画には、教育及び保育の期間や子どもの生活経験、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか。	4	6		
60	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。	3	7		
61	入園時期には生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか。	5	5		
62	日々の保育記録により子ども一人ひとりの発達を理解し、日々の保育記録の記入項目を職員全体で話し合っていて決めていますか。	1	8	1	
63	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できますか。	1	9		
合 計		18	41	1	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・クラス内の子どもの様子や活動について話し、計画を立てていくようにしている。 ・クラス内で子どもの様子や対応など話し合う機会を作り、共通理解を図るようにしている。 ・保育課程や年間指導計画に基づいて、子ども達の様子と照らし合わせながら、計画を立てるようにしている。 ・子どもの発達、年齢に合った活動を提供できていると思う。	・一人ひとりの発達を見ながら、同じ活動の繰り返しではなく、変化のある活動も計画していきたい。 ・保育日誌等 ICT 化され、全体把握がしやすくなったと思うので、情報共有をしていきたい。 ・個々の発達過程に関しては、自身の経験で見えてしまうことがあるので、定期的に発達に関して見直すようにしたい。 ・以上児は個別の記録がないので、日々の日誌で一人ひとりの様子を書き留めて、経過記録に記載したり、発達をしっかりと見ていきたい。

第6章 研修と自己評価

	設 問	A	B	C	D
64	あなたは園の保育理念や基本方針を正しく述べることができますか。	1	7	2	
65	自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか。	1	2	5	2
66	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか。	1	2	7	
67	「教育要領」や「保育指針」「教育・保育要領」に、園の自己評価が努力義務などとして位置づけられているのを知っていますか。	2	8		
68	園の保育内容などについての自己評価の結果を公表するように努めなければならないことを知っていますか。	5	5		
合 計		10	24	14	2

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
	・自己評価の去年の分を見返すと、今年何も変わっていない所があった。反省後の振り返りを行いたい。 ・積極的に研修に参加したり、自分の保育を振り返り、より良い保育にしていける努力が必要。 ・自分の課題を見つけても改善まで至っていない。いろんな保育者の良い所を取り入れたり、自分ができることを少しずつでもやってみる。

第7章 子育て支援

	設 問	A	B	C	D
69	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしていますか。	5	5		
70	保護者からの相談内容などを、あなたは一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	4	6		
71	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか。	7	3		
72	子育てについて、地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を図り、地域の人材の積極的な活用を図るように努めていますか。		3	7	
73	一人ひとりの子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか。また、通告を行う園の体制を理解していますか。	2	8		
合 計		19	25	7	0

良く出来ていると思ったこと	これからの課題と思ったこと
・保護者からの相談ややりとりは、クラスに入る職員にその都度伝えたり、対応を相談するようにしている。ケースによって主幹に相談するようにしている。 ・のびっこはコツコツ継続しているので、入園前の園の様子を知ることができる良い機会だと思う。 ・保護者、職員間での共通理解を深め、信頼関係を築くことができるよう心掛けている。 ・園での様子や家庭の様子を伝え合い、情報共有を心掛けている。 ・のびっこに関わることで、入園前に子どもや保護者の様子を知ることができて良かった。 ・園での様子や家庭の様子を伝え合い、情報共有を心掛けている。	・保護者一人ひとりにあった言葉掛けをしながら、話しやすい雰囲気作りをしていきたい。 ・帳面がデジタル化して簡素化になった分、直接会った時の対応は大事にしていける必要があると感じる。 ・クラスに入る機会が少ない分、保護者と顔を合わせた時は、些細な事でも話をするように心掛け、コミュニケーションをとっていきたい。